



新創記念特別展 第5部

国宝燕子花図屏風 -琳派コレクション- 一挙公開

National Treasure *Iris* Screens and Rimpa Paintings

2010年4月24日(土)~5月23日(日)

[休館日]月曜日 ※5月3日(月・祝)は開館

| 夜間開館 | 4/29(木・祝)—5/5(水・祝) 午後7時まで開館

根津美術館の新創開館を記念する特別展（2009年10月より8回開催）の第5部「国宝燕子花図屏風 -琳派コレクション- 一挙公開」を2010年4月24日(土)~5月23日(日)まで開催いたします。

総金箔地の六曲一双屏風に、濃淡の群青と緑青のみによって鮮烈に描きだされたカキツバタの群生一。尾形光琳（1658-1716）の国宝「燕子花図屏風」は、『伊勢物語』第9段に登場する三河国の八橋のカキツバタを題材として、意匠的な画面構成と優れた技法が渾然一体となった日本絵画の名品です。この「燕子花図屏風」が、4年ぶりに根津美術館の初夏を彩ります。なお、本展覧会の期間中、庭園ではカキツバタの開花も予想されます。

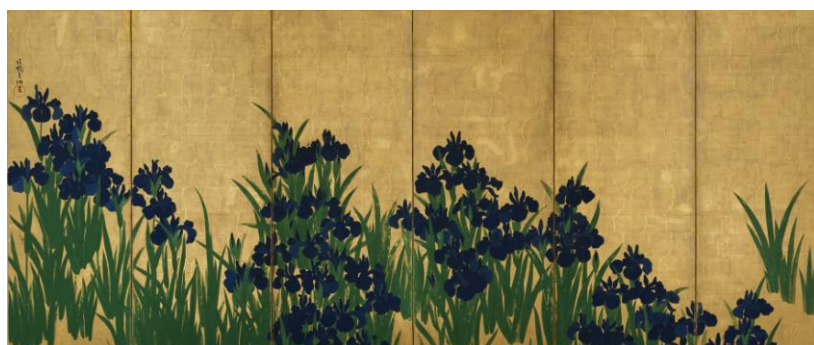
あわせて、光琳が私淑した琳派の祖、俵屋宗達（生没年不詳）周辺で制作された優品「桜下蹴鞠図屏風」や「四季草花図屏風」、江戸琳派の画家、鈴木其一（1796-1858）の代表作「夏秋溪流図屏風」をはじめ、当館所蔵の琳派の絵画をご覧ください。

斬新にして典雅、大胆な造形のなかに限らない繊細さを秘めた琳派の美の世界。国宝を含む絵画約25件を展覧いたします。

展示室1・2



国宝 燕子花図屏風（右隻）尾形光琳筆 江戸時代 18世紀 根津美術館蔵



国宝 燕子花図屏風（左隻）尾形光琳筆 江戸時代 18世紀 根津美術館蔵



重要美術品 桜下蹴鞠図屏風 (右隻) 桃山時代 17世紀
根津美術館蔵



夏秋溪流図屏風 (右隻) 鈴木其一筆 江戸時代 19世紀
根津美術館蔵



四季草花図屏風 (左隻) 「伊年」印 江戸時代 17世紀
根津美術館蔵



誰が袖図屏風 (右隻) 江戸時代 17世紀 根津美術館蔵

尾形光琳は京都の高級呉服商・雁金屋^{かりかねや}に生まれ育ちました。身の回りにあふれていた衣装の色彩や文様は、光琳のデザイン感覚の形成に大きな影響を与えたと思われます。関連作品として着物が衣桁^{いこう}に掛けまわされる様を描いた「誰が袖図屏風」を展示します。

[併設展示]

展示室 5

花文様の器

牡丹や蓮、蘭など中国で好まれた花とともに、わが国では春の桜、夏の朝顔、秋の萩、女郎花、菊、冬の椿などが好まれて工芸品に描かれてきました。陶磁器や漆器といった、使ううつわを飾る花々を展示します。



そめにしきぼたんかびんもんおおざら
染錦牡丹花瓶文大皿
江戸時代 18世紀
根津美術館蔵

展示室 6

燕子花図屏風の茶

昭和6年(1931)5月、初代根津嘉一郎は友人を自邸に招いて「燕子花図屏風」を披露し、庭園では野点^{のだて}の茶で客をもてなしました。手取釜^{てとりがま}、柳文様の棗^{なつめ}、三島茶碗という初夏の取り合わせを当時のままに再現します。



みしまちやわん
三島茶碗 銘 上田
朝鮮・朝鮮時代 16世紀
根津美術館蔵

ホール～展示室 3

ガンダーラや中国の石彫、日本の木彫の名品をご覧いただけます。

ぼさつぎざうとうぶ
菩薩坐像 頭部
中国・唐時代 7-8世紀
根津美術館蔵



展示室 4

コレクションの一翼を担うのは、中国・河南省侯家莊^{こうかそう}出土の伝承をもつ殷時代の青銅器です。饗饗^{きやうきやう}がくつきりとあらわされた尊^{そん}や盃^かの名品 20 件を展示いたします。

重要文化財 饗饗文尊^{きやうきやうもんそん}
中国・殷時代 前 13-12 世紀
根津美術館蔵



[関連情報]

◆第5部 特別講演会

「燕子花図屏風の魅力をさぐる」

日時 5月1日(土) 午後2時から午後3時30分

場所 根津美術館 講堂

定員 140名

講演 河野元昭氏(東京大学名誉教授・秋田県立近代美術館館長)

- 〈申し込み方法〉 往復はがきに住所、氏名(返信面にも)、電話番号を明記のうえ、〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号 根津美術館「第5部展特別講演会係」にお申し込みください。2010年4月10日(土)締切(当日消印有効)
- ・参加希望者1名につき1枚の往復はがきでお申し込みください。
 - ・応募者多数の場合は抽選となります。
 - ・聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。

◆弘仁亭のカキツバタ 開花

「燕子花図屏風」展示の頃、4月下旬より5月初めにかけて庭園の茶室「弘仁亭」前の池ではカキツバタが見頃を迎え、根津美術館八景のひとつ「弘仁亭の燕子花」がお楽しみいただけます。



茶室「弘仁亭」前の
カキツバタ

◆ゴールデンウィーク限定 夜間開館いたします

ゴールデンウィークの7日間に限り、開館時間を午後7時まで延長いたします。
4/29(木・祝)～5/5(水・祝) 午後7時まで開館 (入館は午後6時30分まで)

[開催概要]

- 【展覧会名】 「国宝燕子花図屏風 一琳派コレクション一挙公開」
- 【開館期間】 2010年4月24日(土)～5月23日(日)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時 ※4月29日(木・祝)～5月5日(水・祝)は午後7時まで
[いずれも入館は閉館の30分前]
- 【休館日】 毎週月曜日 ただし5/3(月・祝)は開館
- 【入館料金】 一般1200円(1000円) 学生1000円(800円)
* ()内は20名以上の団体料金
* 身障者手帳提示者および同伴者1名は団体料金
* 小・中学生以下は無料
- 【前売券】 一般1100円 学生900円
* 3月13日(土)～4月18日(日) 「胸中の山水・魂の書」展 開催期間
* 美術館受付にて販売
- 【アクセス】 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分、
B3出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分
- 【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号
- 【お問合せ】 TEL 03-3400-2536(代表)
<http://www.nezu-muse.or.jp>

[展覧会リリース、広報画像はホームページからもダウンロードできます]

- 【リリースPDF】 <http://www.nezu-muse.or.jp/jp/press/>
- 【広報画像ダウンロード】 <http://www.nezu-muse.or.jp/jp/press/download/>

[リリース・広報のお問い合わせ]

担当：鎌倉/谷川/白原

TEL(学芸・広報/直) 03-3400-2538 / 携帯電話(鎌倉) 080-6622-2536
FAX 03-3400-2436 MAIL press@nezu-muse.or.jp